

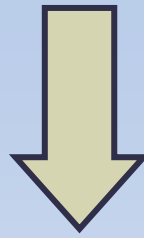
障害者・高齢者が活躍できる 社会を目指して

平成15年5月20日

総務省 武田博之

1. 経済社会の展望と対応方向

- ◆ 少子高齢化への対応と共生社会
- ◆ 自助、共助及び公助の組合せ
- ◆ 経済社会システムの見直し



障害者・高齢者の
自立に資する「道具」として
ITが活用されていくことは
時代の趨勢

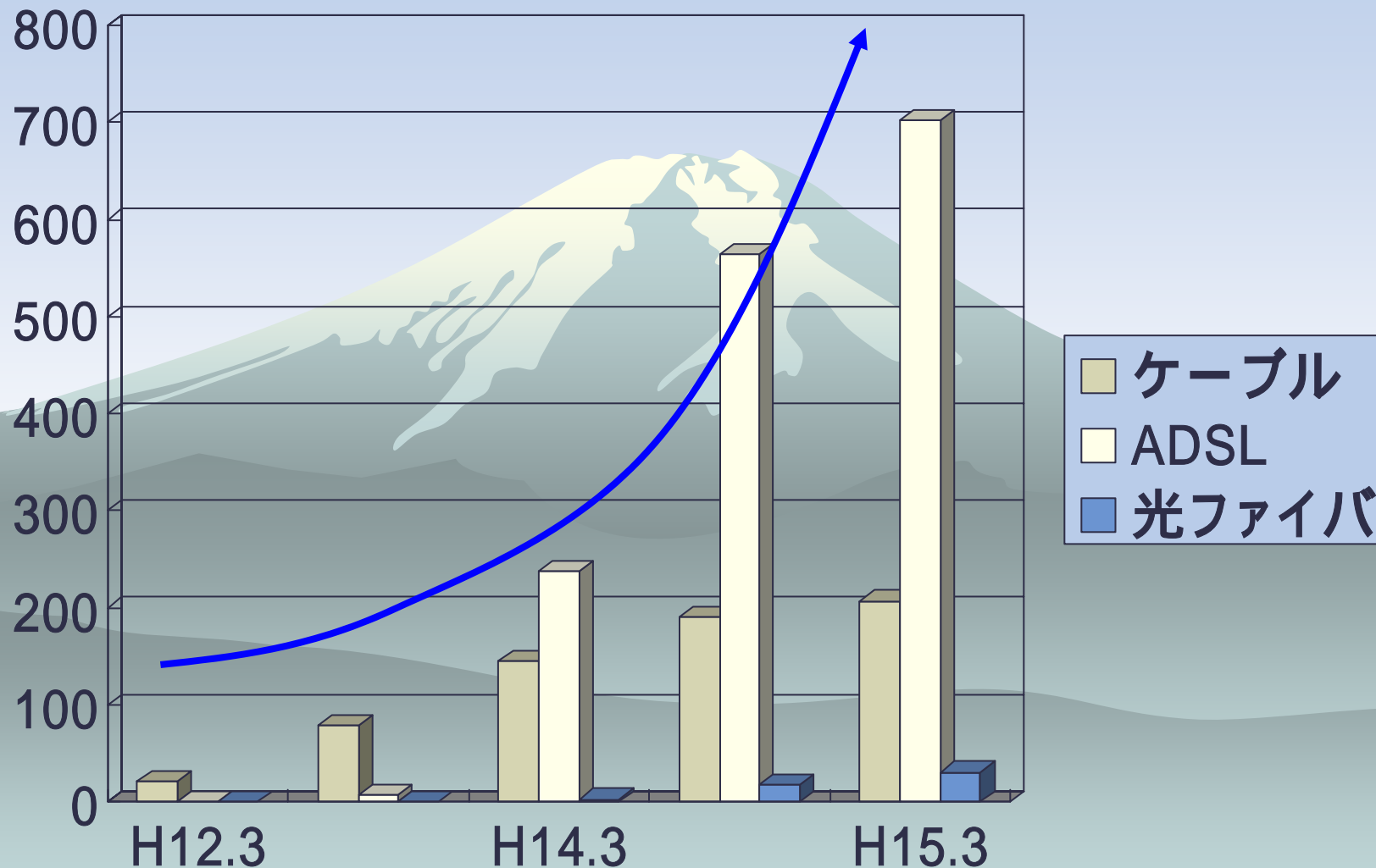
2. IT政策の現状 (その1)

ネットワーク基盤の概成

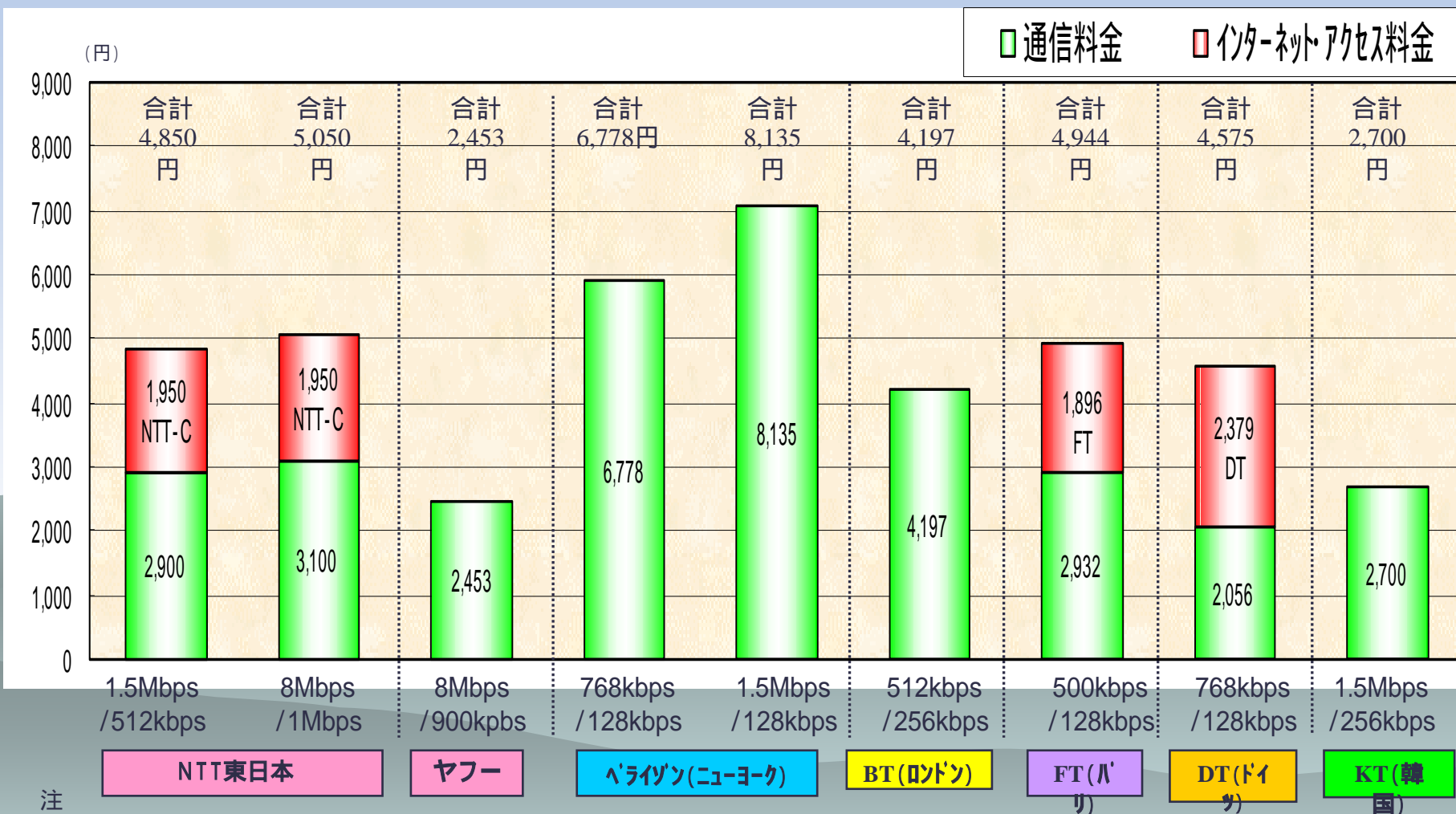
- ◆ 2001年1月 「e-Japan戦略」策定
- ◆ 目標は「世界最先端のIT国家」
- ◆ 現在、ADSL加入数700万超、料金は世界最低水準を実現

ブロードバンド加入者数の推移

(万加入)



ADSL料金の国際比較



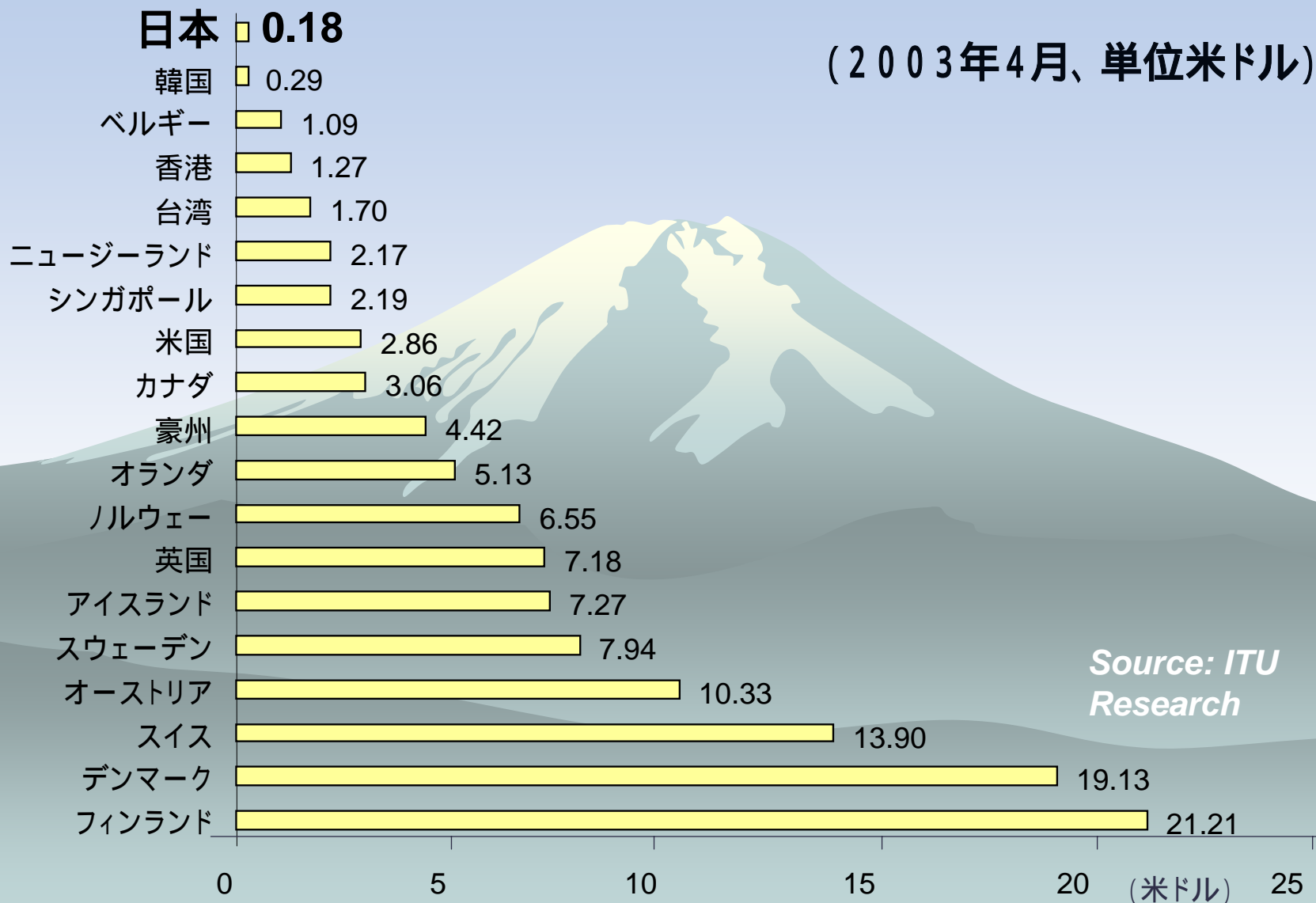
注

- 1) 料金は、2002年7月時点のもの。
- 2) 各国の料金における為替レートは2002年7月10日時点のもの (1米ドル = 118.18円、1英ポンド = 182.65円、1ユーロ = 116.90円、1ウォン = 0.09円)
- 3) いずれの料金についても税金を含んでいない。

通信速度毎のブロードバンド料金

- データ伝送量100kbps当たりの月額料金 -

(2003年4月、単位米ドル)



Source: ITU Research

2 . IT政策の現状 (その2)

第二フェーズに向けた改革

- ◆ 現在、政府では新たなIT戦略を策定中
- ◆ 「個」の視点、国民生活に身近な観点に立った IT活用事例の提示
- ◆ コンテンツ・アプリケーションの本格展開は今後



利用者、需要者の立場

- ・ ITの利便性享受の機会拡大
- ・ アクセシビリティによる選別

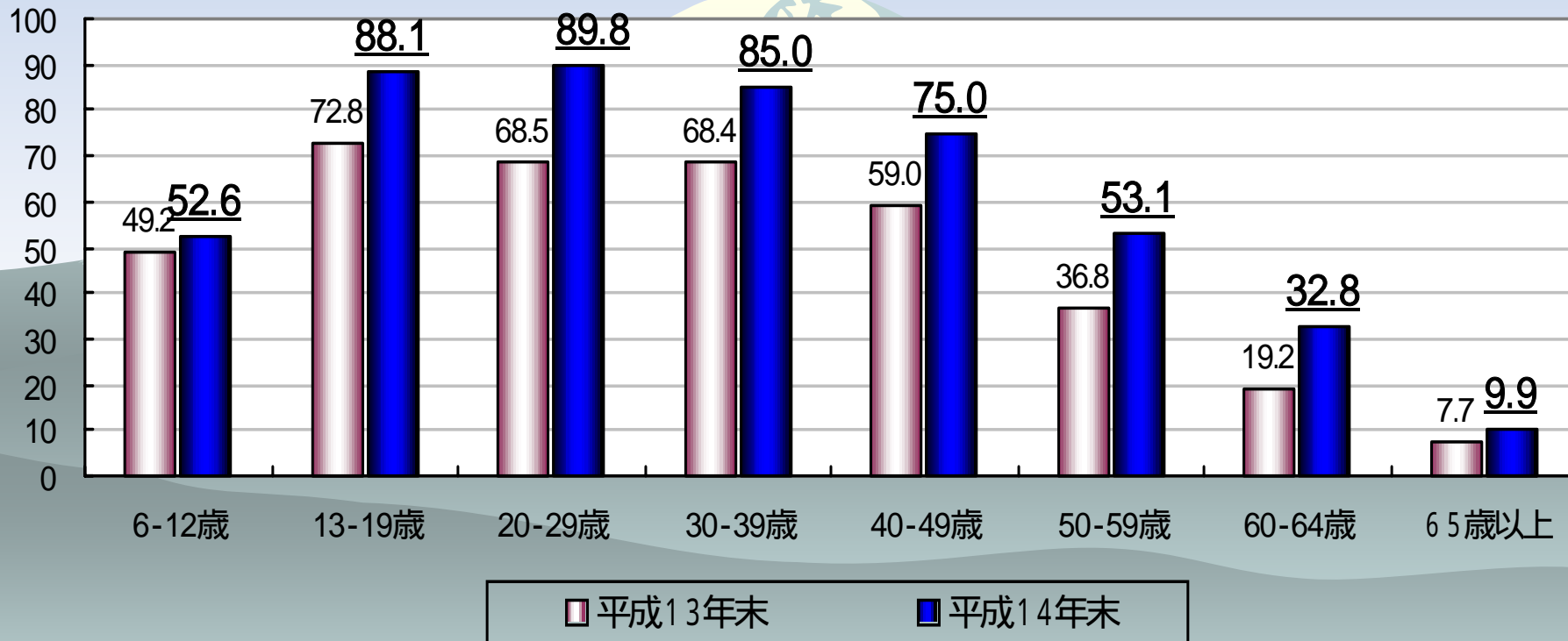
生産者、供給者の立場

- ・ 新たな市場開拓、BPRやサービス改善の追求
- ・ アクセシビリティの標準装備化

3. 最近のIT利用動向(その1)

世代間の利用格差は依然として顕著

世代別のインターネット利用率の推移

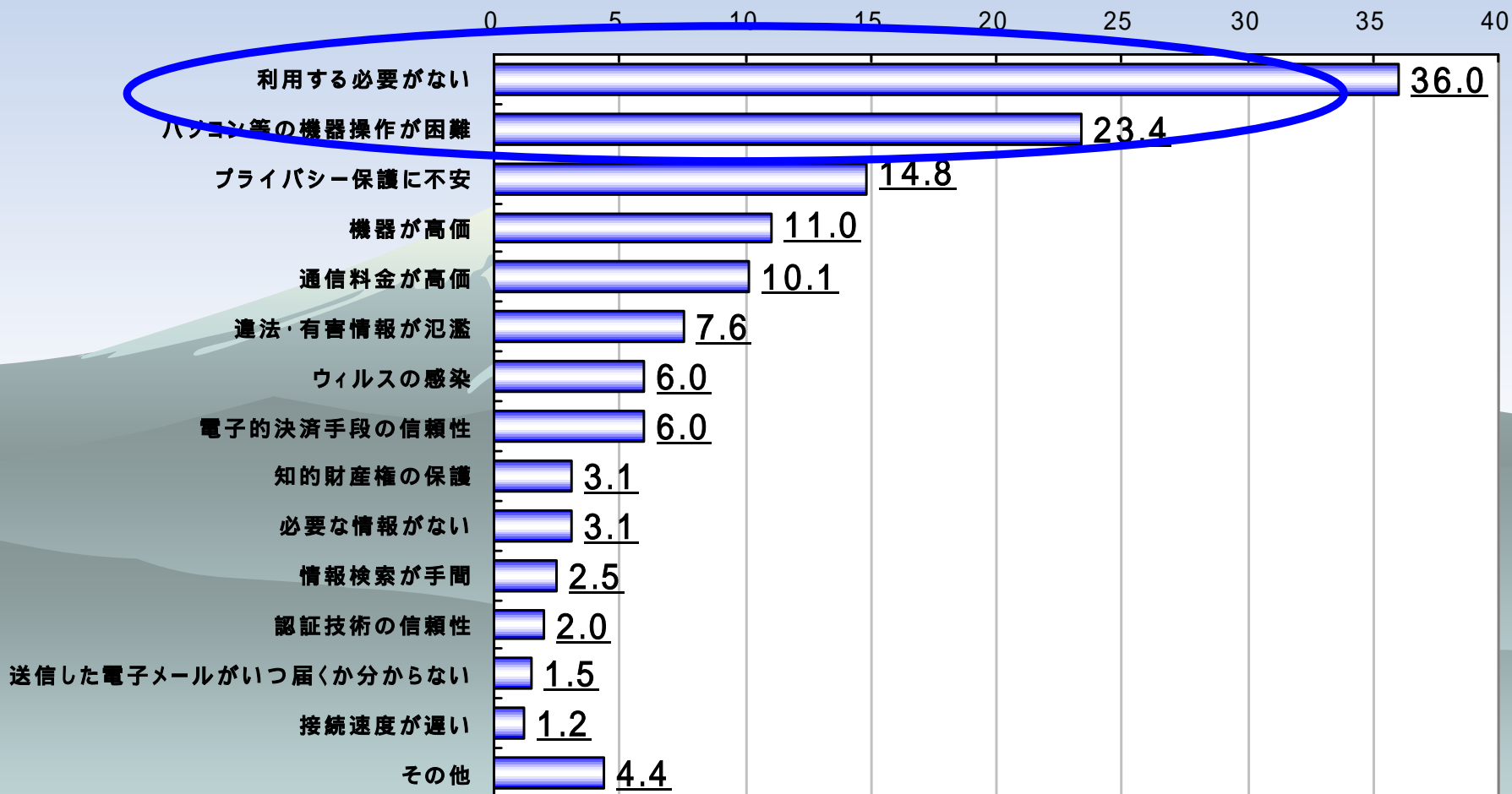


出典:「平成14年通信利用動向調査」

3. 最近のIT利用動向(その2)

機器操作の難しさがIT利用の妨げに

インターネットを利用しない理由(複数回答)

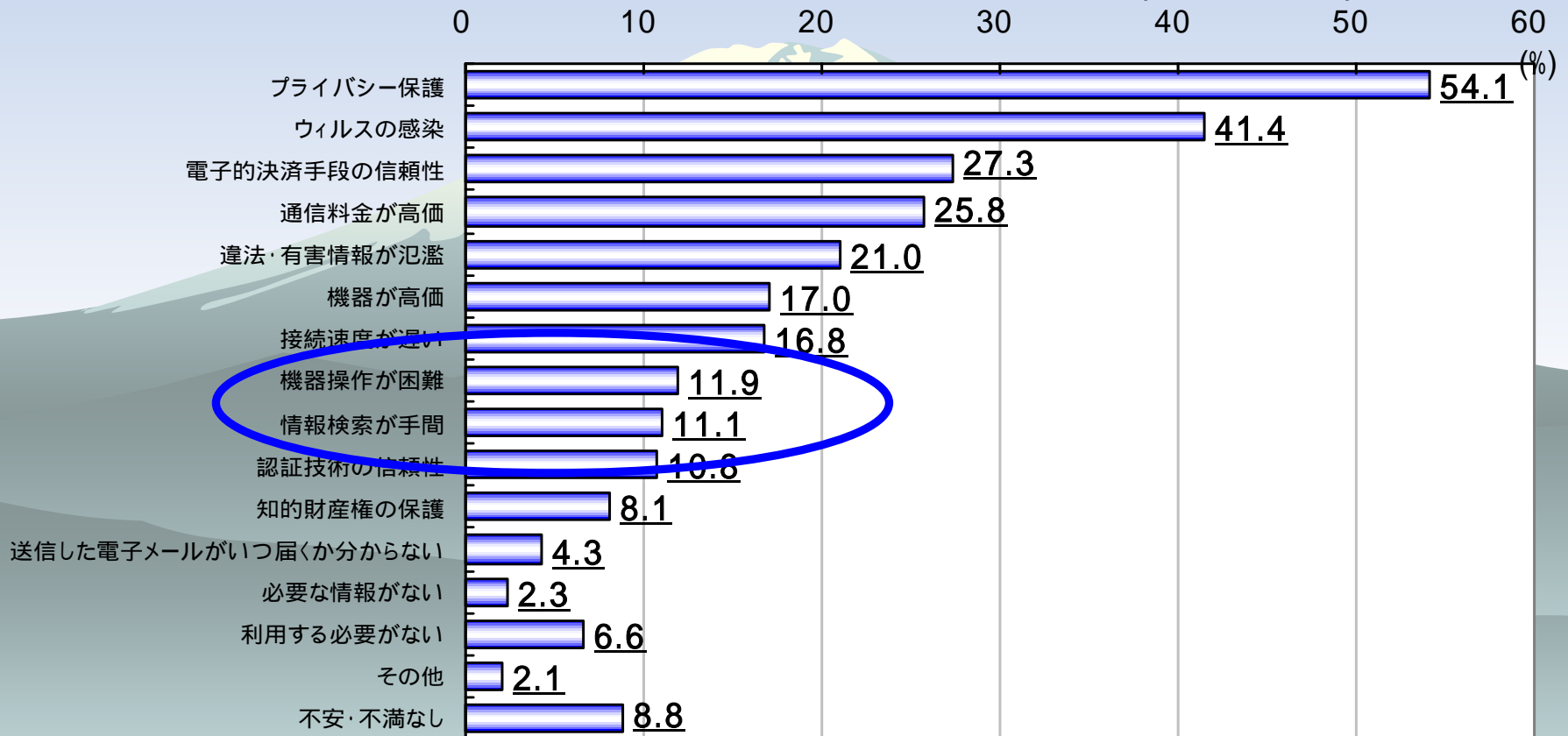


出典:「平成14年通信利用動向調査」

3. 最近のIT利用動向(その3)

IT既利用者も操作の難しさ・検索の手に不満

インターネットを利用する際に感じる不安・不満(複数回答)



4 . 情報バリアフリー施策の基本的方向

IT基本法（H12.12.6法律144号）

ITの恵沢をあまねく享受できる社会の実現

e-Japan重点計画2002（H14.6.18決定）

デジタル・ディバイドの是正は、ネットワーク・インフラ、ITリテラシー、電子政府等の全てのIT施策に通ずる重要課題

新障害者基本計画（H14.12.24決定）

ITの利用・活用により障害者の自立・社会参加を支援

5. 具体的な施策の展開 (その1)

機器・サービスのアクセシビリティの向上

- ・ 電話等通信機器に係る指針策定、情報通信機器全般の設計指針のJIS化の推進
- ・ 電気通信アクセス協議会による取組の支援
- ・ 電話リレーサービス等の促進（通信・放送機構による助成）

5. 具体的な施策の展開 (その2)

コンテンツのアクセシビリティの向上

- ・ 各行政機関によるホームページのアクセシビリティ向上の取組 (政府全体)
- ・ ホームページの点検ツールの開発・普及
- ・ 放送の字幕番組の拡充計画の推進

5. 具体的な施策の展開 (その3)

ITリテラシーの向上

- ・ 地域における IT講習の推進、ITリーダーの育成・確保等
- ・ 地域における ITサポート施設・機能の整備の推進

アクセシビリティの啓発活動

6. 関連施策の動向

従来のパソコンにとらわれない発想

- ◆ ユビキタスネットワーク技術の開発
- ◆ 地上デジタル放送を活用した行政情報の提供

7. 新たな施策の検討

高齢者・障害者によるICT活用の推進に関する研究会
(ICTユニバーサル研)の開催(H14.12~)

- ◆ 当事者の立場にあり、かつ、情報通信技術(ICT)を現に活用している識者の参加も得て開催中
(座長：高橋紘士 立教大学教授)
- ◆ 高齢者・障害者の立場からみて、よりアクセシビリティの高いICTの利用環境を整備するための方策を検討
- ◆ 近々報告書を取りまとめ、公表する予定